

同窓会 たより



千葉大学看護学部・
看護学研究科同窓会

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1

ホームページ <http://www.n.chiba-u.jp/dousoukai/index.html>

ご挨拶

同窓会会長 岡田 忍 (3期)

首都圏の新型コロナウイルスの新規感染者の数は、年末年始の時期からは大幅に減少しましたが、まだまだ予断を許さない状況です。医療機関や地域で看護師や保健師として働いている同窓生の皆様は本当に大変な1年間を過ごされたことと思います。

今年度の総会も新型コロナウイルス感染症に対する配慮から2020年度に続き、書面で開催させていただくこととなりました。たよりに同封した審議事項と資料をご覧ください、期日までにご回答くださるようよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、同窓会活動にも様々な影響を及ぼしましたが、それは必ずしもマイナスの影響だけではありませんでした。昨年の書面総会では、Zoomで笑いヨガという活動をされている会員の方から、同窓会の企画にもZoomを取り入れてはどうかというご提案をいただきました。この方は、大学の広報からの依頼で、大学院に入学した同窓生と一緒に教育学部附属中の生徒さんの学部訪問にリモートで職場から参加していただき、学部訪問がとても充実したものになりました。2月の評議員会もリモートで開催しましたが、1期から40期まで全部で30名近い評議員が出席しました。会議中はお互いを「さん」づけで呼びあうこととし、最後は全員が一言ずつ挨拶をしあって、とても心温まる会になりました。会員の方からのご提案にあったように、リモート会議システム

を取り入れることで、より同窓会活動が活発になるのではないかと感じております。

準会員に対する支援については、学術集会等の参加費助成、附属図書館亥鼻分館への寄付に加えて、コロナ禍によるアルバイト収入の減少で生活が困窮している学部生に対して寄付を行いました。コロナ禍で生活が困窮する学生への支援については千葉大学基金室からも同窓生の皆様に寄付の依頼があったかと思いますが、多くの卒業生から寄付をいただいたことに対して、御礼がありました。

また、同窓会に対しても多くの心遣いをいただきました。昨年は名簿の発行年でしたが、名簿代金振り込みの際に寄付をしてくださったたり、ご逝去された同窓生に対する同期生のご厚志をご家族様から同窓会宛にお送りいただきました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

以上、昨年の状況を踏まえた上で、今後も同窓会活動をより良いものにしていくために、2021年度の活動方針として以下の3つを提案します。

- ①学術集会参加費助成、図書館への寄付など現在実施している準会員・会員と同窓会のつながりを強化する活動を継続する。
- ②リモート会議など同窓会活動におけるICTの活用を進めていく。
- ③同窓会への寄付への対応や名簿における会員情報の扱いについて検討する。

活動方針の実現に向けて、会員の皆様より今後ともご支援・ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

看護学研究院長挨拶

千葉大学大学院看護学研究院長 諏訪 さゆり

令和3年度を迎えた今、千葉大学看護学部の同窓会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。難しい状況はしばらく続くことが予測されますが、昨年度は、同窓会としてCOVID-19感染症拡大の中で、学生への経済的支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。おかげさまで、学生が安心して学ぶ状況が整い、3月には無事に卒業生を送り出すことができました。ここにご報告と御礼をお伝えするとともに、同窓会の皆様も、健やかで安心できる時を親しい方々と過ごされますようにと切に願っております。

私は、この4月より、千葉大学大学院看護学研究院長を拝命しました。諏訪さゆりと申します。私自身も同窓生であります。看護学部で伸び伸びと育てていただいたあの頃を懐かしく思い出しながらも、これからも社会の要請に応えることのできる看護実践者や教育研究者を輩出し続けるために、さまざまなチャレンジを続けていきたいと思っています。

そのチャレンジの一つとして、令和3年度より組織体制を改革し、千葉大学大学院看護学研究院となりました。この看護学研究院は、研究組織として位置づけられています。そして、看護学部と看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)、附属看護実践・教育・研究共創センター・附属専門職連携教育研究センターの2センターを有し、看護学研究院に所属する教員や千葉大学の他研究院の教員が、千葉大学大学院看護学研究科や看護学部における教育に協働して参画できるようになりました。総合大学である千葉大学のメリットを最大限生かせるようになったと言えます。このことは、他の学問領域の学生や大学院生、教育研究者との交流をとおりて、看護実践や看護学への期待やニーズをダイレクトに感じ取り、新たな視点で

看護学を深めていく刺激的な機会を得られることを意味します。

現代のグローバル社会の要請に応えるナース・サイエンティストを育てるために、看護学部での教育では、専門科目の中での英語科目や研究科目を特に強化しています。さらに令和5年度に学部カリキュラムを新しいものとするべく、今年度から検討を開始します。

大学院教育は大きく変わります。看護学研究科博士前期課程は、看護学コースと看護実践学コースから成り立ち、さらに看護実践学コースは、看護管理学、高度看護実践学、特定看護学の3つのプログラムで構成されます。このようにコースとプログラムに分かれますが、大学院生がコースやプログラムを超えて、共に学びを深めることのできる共通基盤科目が多数開講されます。その上で専門科目や特別研究へと学びを深めていくことができます。博士後期課程でも、看護学の教育研究者としての能力を確実に高めるために、Academic Writingや看護革新力の展開、学際研究など、複数の共通基盤科目を開講します。さらに、これまでの共同災害看護学専攻で培ってきた教育内容を踏まえて、災害看護副専攻プログラムがスタートすることになりました。詳しくは、看護学研究院のホームページや大学院の募集要項などを参照していただければと思います。

看護学部は1975年4月に国立大学唯一の看護学部として設置されて以来、2021年3月の時点で、3,648名の学部卒業生を輩出しております。1979年度に看護学専攻(修士課程)15名で設置された大学院看護学研究科は、現在、看護系大学院の中でも最大規模の大学院生を受入れており、2021年3月の時点で、修士生は1,238名のほります。

皆様のご協力のもと、このたびの組織改革のメリットを最大限発揮できるよう基盤を整え、今後も発展を目指し、様々な社会課題へ看護学の立場から貢献してまいります。ぜひとも応援をよろしくお願いいたします。

2020年度 総会報告

2020年度総会は、新型コロナウイルスの感染拡大を予防する国の方針を受け、書面総会として開催しました。総会議事として、2019年度報告および2020年度議案、委員会組織の再編に伴う会則変更について、同窓会たよりに掲載し説明させていただきました。

2019年度報告では、各委員会からの報告として、総務委員会から卒業生4名と準会員1名に対する学術集会参加費助成、名簿委員会から登録データ更新・変更用のWEBページの運用開始、たより委員会から同窓会たよりの発行、広報渉外委員会から総会での同窓会企画の開催等についての活動報告に加え、会計担当から2019年度決算が、報告されました。

2020年度議案では、岡田会長から2020年度の活動方針の提案、各委員会の活動計画として、総務委員会から各種会議の会期変更とWEB会議の導入、広報渉外委員会から同窓会企画の隔年開催、名簿委員会から名簿の発行、たより委員会からたよりの発行について説明があり、これらの活動に対して2020年度予算案が、提案されました。

総会議事に対する議決はハガキの返信を以って決し、回答期限内に寄せられた1,125通の返信では、過半数より「承認」のご意向をいただき、2020年度の議案は全て承認されました。2020年度書面総会へのご参加と、沢山のご返信、ご意見をお寄せくださり、誠に有り難うございました。



Curio(キュリオ) 千葉大学校友会SNSの 入会方法

1. <http://www.chiba-u.ac.jp/sns/>を開き、[\[入会案内はこちらから\]](#)をクリックし、『「Curio」入会申込書(正会員用)』より、入会申込書の書式をダウンロードする。
2. 入会申込書に必要事項を記載し、本人であることを確認できる書類(運転免許証、健康保険証など)のコピーとともに、校友会事務局まで郵送かFAXで送る。
＜送付先＞〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 FAX 043-284-2550
千葉大学校友会事務局
3. 校友会事務局で正会員の資格を持っていることを確認したうえで、「Curio」への登録を行う。
4. 登録が完了したら、メールで連絡をする。

資料 1

2020年度千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会
決算報告

※ 1 予算との比較（計算式）収入『決算－予算』、支出『予算－決算』、△表記⇒マイナス、無印⇒プラス

正会員の収支

項 目		予 算	決 算	予算との比較※1
収入の部	計	8,240,282	8,312,287	72,005
1. 会費	計	7,340,282	7,351,787	11,505
1) 繰越金		6,115,782	6,115,782	0
2) 2020年度新入会員終身会費（12,000円×103名） 内訳：16N卒業生80名 修了生23名		1,224,000	1,236,000	12,000
3) 利子		500	5	△ 495
2. 寄付	計	0	186,500	186,500
1) 準会員退会者入会金返納辞退（2名）		0	24,000	24,000
2) 12期生ご遺族様より寄付		0	30,000	30,000
3) 名簿購入時会員より寄付		0	132,500	132,500
3. 名簿委員会	計	900,000	774,000	△ 126,000
名簿代振込（3,000円×255件）他		900,000	774,000	△ 126,000

支出の部	計	8,218,927	8,312,287	△ 93,360
1. 理事会	計	344,000	524,240	△ 180,240
1) 会議費		30,000	0	30,000
2) 交際費		210,000	100,000	110,000
内訳：				
校友会費		50,000	50,000	0
弔慰金		50,000	0	50,000
亥鼻祭への寄付（今年度WEB開催）		50,000	50,000	0
学部オープンキャンパス運営補助		60,000	0	60,000
3) 準会員への支援		100,000	320,500	△ 220,500
内訳：				
学部学生への学術集会参加費助成（2020年度申請 4 件）		100,000	20,500	79,500
コロナ禍での実習を行う学生支援のための寄付【臨時追加】		0	300,000	△ 300,000
4) 千葉大学付属図書館亥鼻分館への寄付		100,000	100,000	0
内訳：				
看護系専門図書館寄贈（「動画でわかる小児神経のみかた」他37点）		1,000	0	1,000
5) 通信費		1,000	0	1,000
6) 雑費（振込手数料等）		3,000	3,740	△ 740
2. 総務委員会	計	34,000	3,196	30,804
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	10,000
2) 郵送費（事務連絡通信費）		6,000	1,260	4,740
内訳：評議員会通知用ハガキ20通				
3) 人件費		10,000	0	10,000
内訳：総会託児アルバイト謝金5,000円／名※今年度実施無し				
4) 消耗品費（評議員連絡用封筒・紙代・託児用品代等）		7,000	1,936	5,064
5) 雑費（振込手数料等）		1,000	0	1,000
3. 名簿委員会	計	1,003,418	1,030,699	△ 27,281
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	10,000
2) 名簿制作費		634,418	629,511	4,907
3) メンテナンス・データ処理		135,000	191,229	△ 56,229
4) 個人票関係費（督促ハガキ印刷送費、後納郵便代）		200,000	172,779	27,221
5) 会員情報訂正用ページのシステム管理費		11,000	22,000	△ 11,000
6) 謝金（個人票確認作業補助）		10,000	0	10,000
7) 雑費（振込手数料、名簿二重購入者へ返金等）		3,000	15,180	△ 12,180
4. たより委員会	計	982,816	923,809	59,007
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	10,000
2) たより印刷送費		971,816	922,929	48,887
3) 雑費（振込手数料等）		1,000	880	120
5. 広報・渉外委員会	計	111,000	12,540	98,460
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	
2) ホームページ更新費		45,000	12,100	32,900
3) 印刷費（同窓会企画周知用チラシ印刷3,600部・三つ折代・送料含）		0	0	0
4) 渉外費		0	0	0
内訳：				
卒業式記念品 ※本年度予定無し		0	0	0
同窓会企画謝金（シンボジスト、あのはな音楽部）※本年度実施無し		0	0	0
同窓会企画交通費 ※本年度実施無し		0	0	0
入学記念品作成代（※本年度予定無し）		0	0	0
退官記念品（※本年度予定無し）		0	0	0
5) 消耗品費		1,000	0	1,000
6) 人件費		10,000	0	10,000
7) 郵送費		1,000	0	1,000
8) 雑費（振込手数料等）		2,000	440	1,560
6. 予備費	計	5,743,693	5,817,803	△ 74,110
1) 2021年度への繰越金			5,817,803	

2020年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会の会計監査を実施した結果、
収支共に正当であることを認めます。

2021年 3月31日
監査 和佳 淑子
小川 純子

資料 2

2021年度千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会
予算(案)

項 目		予 算
収入の部	総計	7,044,903
1. 会費	計	7,029,903
1) 繰越金		5,817,803
2) 2021年度新入会員終身会費（12,000円×101名） 内訳：学部卒業生77名 修了生24名		1,212,000
3) 利子		100
2. 寄付	計	0
3. 名簿委員会	計	15,000
名簿代振込見込み（3,000円×5件）		15,000

支出の部	総計	7,044,903
1. 理事会	計	452,100
1) 会議費		10,000
2) 交際費		210,000
内訳：		
校友会費（50,000円）		
慶弔金（50,000円）※退官記念品等含む		
亥鼻祭への寄付（50,000円）		
学部オープンキャンパス運営補助（60,000円）		
3) 準会員への支援		100,000
内訳：		
学部学生への学術集会参加費助成（上限10,000円×10件）		
4) 千葉大学付属図書館亥鼻分館への寄付		100,000
5) 人件費（事務作業費1,000円×10時間）		10,000
6) 通信費（同窓会用zoom年間ライセンス契約費）		20,100
7) 雑費（振込手数料等）		2,000
2. 総務委員会	計	32,000
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000
2) 郵送費（事務連絡通信費）		6,000
3) 人件費（事務作業費1,000円×10時間）		10,000
4) 消耗品費（評議員連絡用封筒・紙代等）		5,000
5) 雑費（振込手数料等）		1,000
3. 名簿・たより委員会	計	1,252,816
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000
2) 名簿制作費（今年度実施無し）		0
3) たより印刷送費		971,816
4) メンテナンス・データ処理		135,000
5) 個人票関係費（督促ハガキ印刷送費、後納郵便代）		100,000
6) 会員情報訂正用ページのシステム管理費		11,000
7) 人件費（事務作業費1,000円×20時間）		20,000
8) 郵送費（名簿購入者への郵送等）		2,000
9) 雑費（振込手数料等）		3,000
4. 広報・渉外委員会	計	389,000
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000
2) ホームページ更新費		45,000
3) 印刷費（同窓会企画周知用チラシ印刷※本年度実施無し （紙面総会のため））		0
4) 渉外費		320,000
内訳：		
同窓会企画謝金※本年度実施無し（紙面総会予定のため）		0
同窓会企画交通費※本年度実施無し（紙面総会予定のため）		0
入学記念品作成代※クリップボード@550～600、500名分、 看護学ロゴ版代、印字代		320,000
5) 消耗品費		1,000
6) 人件費（事務作業費1,000円×10時間）		10,000
7) 郵送費		1,000
8) 雑費（振込手数料等）		2,000
5. 予備費	計	4,918,987





2021年度同窓会総会のご案内

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度のご案内では、2021年度同窓会総会について、対面ではなく書面総会として実施させていただくことをご報告申し上げます。

今季、千葉大学では、新型コロナウイルス感染拡大を予防する国の方針を受け、臨時の対応を継続しております。2021年度同窓会総会につきましては、総会資料に基づく書面総会として、総会議事に対する表決をいただくことと決定いたしました。何卒、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

【総会議事】 *総会議事として以下の資料を掲載しております。内容をご確認のうえ、表決についてお知らせください。

- ・2020年度報告：活動報告（別添資料）、決算報告（資料1）
- ・2021年度議案：活動方針、新評議員案（資料3）、新委員会案（資料4）、活動案（別添資料）、予算案（資料2）

* 総会議事に対する表決に関しまして、8頁に掲載する会員情報登録・更新用WEBページのQRコードにアクセスいただき、7月20日（火）までにご回答ください。期日までのご回答がない場合は、承認とさせていただきます。

WEB上でお答えいただいた表決を以って、審議を進めさせていただきます。議事に対するご意見がございましたら、〈ご意見欄〉へのご入力をお願いいたします。尚、表決のご回答の際、2022年度以降の同窓会総会の開催形態に関するアンケートについても、ご回答をいただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。



2021年度総会議案

2021年度の活動方針については会長の「ご挨拶」をご参照ください。2020年度決算報告書は資料1に、2021年度予算案は資料2に示します。また、新役員案を資料3、新委員会案を資料4に示しました。評議員会から継続して会長として岡田忍氏を推薦します。また、副会長に引き続き石橋みゆき氏、丸山優氏を推薦します。

資料3 2021年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会 新評議員案

（ ）は卒業期

会 長	岡田 忍 (3)	13期	常田 千佳	末永 由理	26期	鈴木 和也	内海加奈子	38期	富田 千尋	矢崎 萌子
副会長	石橋みゆき (14)	14期	石川かおり	石橋みゆき		島村 敦子		39期	森元 花織	大和田理恵
	丸山 優 (21)		加藤美江子		27期	国原 健史	鉄矢 朋子		池田 結	
評議員		15期	大塚 千春	飯野 理恵	28期	鈴木 悟子	宮川 祐子	40期	澤本 美冴	黛 英里香
1期	伊藤 隆子	16期	新井 典子	飯島 久美	29期	松岡 大樹	太田 愛		櫻庭 唱子	
2期	田中 裕二	17期	北島 美奈	松林 美子		太田 潤		41期	川末菜央子	松村 彩
3期	岡田 忍	18期	神津 三佳	中嶋 秀明	30期	佐野 元洋	渡邊 賢治	42期	小川 義弘	小田桐映舞
4期	島田 尚江		永田亜希子		31期	屋久 祐介	吉田 真美	43期	加藤美香子	峰木 瞳
5期	酒井 郁子	19期	藤本 紀子	齊藤 千晶	32期	山崎由利亚	橋内 伸介	修了生	仲井 あや	
6期	児玉三枝子	20期	長瀬明日香	渡邊 美和	33期	伊藤真理子	松戸 麻華			
7期	亀崎 路子	21期	菅谷 綾子	時田 礼子		阿部由喜湖		監 事	和住 淑子 (10)	
8期	湯浅美千代	22期	山下 亮子	高橋 良幸	34期	青木 美和	石川 琴子		小川 純子 (15)	
9期	荻野 雅	23期	榊原理恵子	長谷川智子		後藤 靖江		会 計	岩瀬 靖子 (21)	
10期	錢 淑君	24期	小川 俊子	秋山 愛	35期	荻野穂奈美	霜村 菜奈		山崎由利亚 (32)	
11期	野崎 章子		村山 陽子			田中 貴大			佐々木ちひろ (34)	
12期	末永 香	25期	伊藤 明子	松本美佐子	36期	川島 悠佳	加瀬竜太郎			
	河部 房子				37期	工藤ひかり	田近 祐子			
	石丸 美奈									

資料4 2021年度 千葉大学看護学部・研究科同窓会 新委員会案

（ ）は卒業期

総務委員会	委員長	中水流 彩 (24)	
	副委員長	小川 俊子 (24)	
	委員	渡邊 美和 (20)	阿部由喜湖 (33)
名簿・たより委員会	委員長	雨宮 歩 (26)	
		副委員長 永田亜希子 (18)	
	委員	野崎 章子 (11)	中村 友紀 (37)
		椿 祥子 (23)	池田 結 (39)
		金井 友佳 (29)	松村 彩 (41)
広報・渉外委員会	委員長	加瀬竜太郎 (36)	仲井 あや (修)
		時田 礼子 (21)	
		副委員長 石丸 美奈 (12)	
名簿・たより委員会	委員	加藤美江子 (14)	佐藤 太一 (35)
		神津 三佳 (18)	杏澤 夏菜 (40)
		山下 亮子 (22)	坂口 葵 (40)
		田中 貴大 (35)	

学術集会参加報告

平成25年度より、学部生の準会員に対して学術集会参加費を助成しています。また、卒後1年以内に卒業研究を発表する会員の学術集会参加費を助成しています。2020年度は5名に対して助成しました。2021年度も助成を継続し、多くの同窓生が学術集会に参加できるよう広報に力を入れていく予定です。

【学術集会参加報告】

1. 清水 祐美 さん（卒業生）

参加学会：千葉看護学会第26回学術集会

場 所：オンライン開催

参加目的：卒業研究の発表

参加報告：

本学術集会を通して、日本の社会背景による現状について振り返り、そこから浮かび上がった課題、一方で退院後もその人らしく地域で豊かな人生を送ることができるように支援していくために必要である視点は何か、そしてこれらより病棟看護師の役割や求められることについて考える、という過程を経て学びを深めることができました。併せて先生方から沢山のアドバイスをいただきながら、卒業研究のポスター発表を行い、研究発表までのプロセスも学ぶことができました。

人口減少と少子高齢化が更なる進展を遂げ、地域包括ケアや地域共生社会の実現が重要となってきています。住民の地域での暮らしやすさの向上には周囲の関わりや手助けが必要であり、病棟看護師には入院前の状況・退院後についての患者の思いを把握し、多職種での退院支援カンファレンスを実施して支援していく等が求められます。今後は、これらの視点に重点を置きながら検討していくことで、病院から地域に戻る際の患者の負担を最小とし、その人らしい生活を継続できるような支援のできる看護職を目指していきたいと感じています。

2. 閏間 愛 さん（卒業生）

参加学会：23rd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)

場 所：Chiang Mai, Thailand

参加目的：卒業研究の発表

参加報告：

在学中にイギリスで行った終末期がん高齢者の在宅緩和ケアに関わる多職種へのインタビューを卒業研究としてまとめ、その成果を発表しました。当日は、ポスターに目を留めてくださった方々からいただいた質問やアドバイスをもとに研究内容を振り返り、新たな視点や今後の展望について考える貴重な機会を得ることができました。また、専門領域や出身国の異なる看護研究者によるさまざまな発表を聴講し、より良い看護や質の高い看護教育を目指す研究者たちの熱意を感じることもできました。

国際学会で行う研究発表は初めての経験でしたが、発表直前まで指導教員の先生をはじめ、専門領域の先生方に丁寧に指導していただき、大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。また卒業後もこうして母校同窓会の援助を受けられたことで、夢にまで見た国際学会への参加を果たすことができました。言語や文化の壁を超えて一つのテーマに関して行うディスカッションはとても刺激的でした。今後もこのような国際的な場で発信することを目標に、日々の臨床業務に励んでいこうと思います。

【テーマ】コロナ禍の同窓生の活動報告

課を、区を、市を越えて『職能』で助け合う

23期生 深 澤 美 香（横浜市総務局人事部職員健康課）

横浜市は、人口370万人以上の日本最大基礎自治体であり、政令指定都市ならではの『保健所』と『市町村保健センター』機能があります。たくさんの同窓生を含む約500人の保健師が、令和2年2月のダイヤモンドプリンセス号から始まる新型コロナウイルス感染症対応で活躍しています。私は令和2年4月から産業保健分野に配属され、市職員の健康支援業務や、神奈川県医療提供体制「神奈川モデル」の機能の一つである市宿泊療養施設・県コロナ対策本部での療養者健康支援業務への応援派遣などに従事しています。

コロナ禍で感じたことを3つのキーワードで共有します。

①「課を、区を、市を越えて『職能』で助け合う」「互いの強みを活かし『職種』を越えて助け合う」：陽性者の急増により、感染症担当部門だけでは対応しきれなくなった際、母子保健部門や、高齢者支援担当部門等、課を越えた看護職の応援が始まりました。また、事務職による全体統括調整及びマニュアル整備、電子申請システムを活用した陽性者へのヒアリング等、好事例を先行区が各区に情報提供するなど、区を越えた協力関係が生まれました。本庁勤務保健師は月数回ずつ、神奈川県コロナ対策本部へ応援派遣され、県や川崎市の保健師と一緒に活動することで、市を越えた人材交流や学びの機会にもなっています。これまで経験したことのない未知のウイルスに対する難しさとともに、大変な状況の中でも助け合い、前向きに活動を続けている同僚や先輩方の底力を感じています。②「持続可能な業務の遂行、マネジメントの重要性」：産業医の過重労働面接において、第1・2波までは「まだ頑張れそう」という声が多かったものの、第3波以降は涙の訴えが増え、明らかに職員の疲弊度が増したように

感じます。終わりの見えない過重労働の長期化、常に迅速さや正確さを求められ生命にかかわる緊張感などで、日々倒れそうになりながらも責任感や使命感で自身を奮い立たせ、地域住民に向き合う仲間に、保健師として何ができるのか、悩む毎日です。そのような中でも、組織管理職による「災害対応」との判断、業務の一部凍結、事務職統括の配置、派遣看護職の雇用や他部署からの応援調整、互いに労う雰囲気があるなど、「職場の支援」が早期から持続して複数ある現場の職員は前向きに活動できている様子です。③「コロナ禍での戸惑いと保健師活動」：軽症者療養施設への応援派遣の際、不安な顔を見せずに快く協力してくれた夫や長女(高校生)、長男(中学生)に感謝しています。昨春の休校期間中、体力の有り余っている長男にお弁当を置いて出勤する切なさ、初めての共通テスト世代である長女の受験生活と感染予防対策の両立の困難さも感じました。日常生活においても、保健師活動においても、これまで以上に本質を見極めた目標設定や方法の工夫が必要になったと感じています。感染予防やマスクによる熱中症予防に留意しながらの運動の提案や、感染予防対策を講じながらの交流など、戸惑いながらも新しい方法を探っています。最後に、ZOOMで開催された市保健師自主学習会「コロナ禍における保健師への期待」でいただいた藤原啓子さん(5期生、元横浜市健康福祉局健康安全部長)のメッセージを紹介します。「何が今起きていて、何ができるのか。これが必要だ！と気づいて動ける職種が保健師」「当事者性を持って自分にもできることがあるはず、と思えるかが大切」

日ごろから、「みる・きく・つなぐ」を意識してつながりを持つ大切さを実感しています。

青年海外協力隊員として、緊急一時帰国経験からの想い

36期生 丸 田 美 穂

青年海外協力隊・看護師隊員として2020年コロナ禍で経験したことを共有させていただきます。2020年3月、世界中に急速に新型コロナウイルスが感染拡大するなか世界中の国々から青年海外協力隊（以下、協力隊）の一斉緊急一時帰国が決定され、約2,000人の隊員が日本に帰国しました。私は当時、パラグアイにて協力隊（看護職）として2年の任期のうち1年半が過ぎたところでした。帰国時、9月までの任期中にはパラグアイに戻ってこれるだろうと思っていました。誰も悪くはない、しかし私を含め多くの隊員が緊急帰国に対して無念で行き場のない気持ちを抱えていたと思います。

帰国後もオンラインで任地と出来る活動を行っていましたが、ネット環境が整っていない任地と出来ることは限られ、任地の同僚たちと感染症対策を一緒に行えないことがとても虚しく、つらかったです。また、ホームステイ先の家族や友人たちからはずっと途切れることなく「いつ帰ってくるのか、寂しいよ」と連絡がきていました。7月になり任期中に協力隊として帰ることが難しいとあきらめ始めた時、私はパラグアイの国境が開いたら個人的に必ず帰

るぞと決心しました。

帰国してからは日本でも何かできることを、と考え保健所や帰国者接触者相談センター、軽症者滞在ホテルで派遣バイトをしました。以前働いていた訪問看護ステーションゆうあいにもパートで復帰させていただきました。なかなか収束に向かわない状況に時には怒りを感じつつ、パラグアイの同僚たちや家族・友達のことを考えない日はありませんでした。ありがたいことに正規職員としての仕事をお誘いいただくこともあったのですが、パラグアイに気持ちが取り残されていて新しいことを始める気持ちにはなりません。皆さんも2020年思うように人生が進まず悩まれた方も多かったと思います。私も11月にパラグアイの国境が開いた時には、精神的に限界ですぐにでもパラグアイに飛んでいきたい気持ちでした。

その後、様々な準備を整えて2021年1月9日、再びパラグアイの地を踏むことが出来ました。正直、自分でもここまでしてなんで帰りたいのか明確な理由はわかりませんでした。決してパラグアイの感染症の状況は落ち着いていません。¹⁾ しかし今こうやってパラグアイでこの寄稿文を書いていて言えることは、戻ってこれてよ

かったということです。自分の中で区切りをつけることがこんなにも大切なことなだと知りました。それだけではありません。手洗いの文化がほとんどなかったパラグアイですが今では建物の入り口に簡易手洗い場が必ず設置されており、建物に入る前に手洗い・手指消毒が義務付けられています。挨拶の方法もハグから触れ合わない方法に変化し、回し飲みの文化も変化しています。直に文化の変化を見ることが出来てとても貴重な経験になっています。また、協力隊の活動中には見られなかった自分の活動の成果も知ることが出来ました。自分が始めたプロジェクトがこの10か月で思いのほか大きくなっていました。協力隊の活動の成果は数字で示せないことも多く、なかなか世間から評価されづらいと感じます。しかし、私はお金やモノでの支援ではない協力隊のような人と人

との交流は最も人を動かし、社会の変化の種になると思っています。だから今回見ることが出来た成果はとてうれしいものでした。そして、何よりもパラグアイの方々からさらにたくさんの愛情を感じられたことがとてもうれしいです。この縁は私の宝物です。

パラグアイに戻ってきて改めて感じるがあります。それは今世界中が同じ課題に取り組んでいるということです。日本でも海外の状況が報じられていますが、報じられていないすべての国々においてそれぞれの方法で対策されています。だからこそ互いの状況を理解し合えるし、助け合える時なのではないかと考えます。

1) パラグアイ感染状況：人口704万人（国土面積は日本の1.1倍）。累計感染者128,366人、死者2,633人、一般病床稼働率約44%、ICU稼働率89.4%（2021年1月25日現在）



同窓会たより 大学のコロナの現状

2020年度は新型コロナウイルスの蔓延によって、大学で実施されている講義・実習・研究に対して様々な影響がありました。そこで、コロナ禍における大学の現状を学生と教員にインタビューさせて頂きましたのでご紹介いたします。

2020年4月に発令された緊急事態宣言に伴い、学生の入構が禁止されたことで対面講義や実習は中止となり、オンライン講義を開始するといった前例のない対応が求められました。そこで、大学側の取り組みとしてはまず講義を実施するにあたり、オンデマンド型と双方型の2種類に講義形態を分けました。また、緊急事態宣言の解除以降も可能な限り対面型の講義を避けるようにしました。

このような講義形態に関して学生からはメリットやデメリットが多数寄せられました。

オンデマンド型の講義のメリットとして、理解度に合わせて繰り返し視聴ができること、講義中に紹介された文献を確認しながら受講が可能であることに加え、移動の負担がないため西千葉キャンパスの講義が受講しやすいなどの意見が寄せられました。また、社会人学生や育児中の学生は通学時間が削減されることで、より時間を確保できたことがコロナ禍においても有意義であったようでした。さらに、演習や実習のような対面学習の重要性を再認識する機会にもなりました。

その一方で、改善を求める声もいくつかありました。例えば、講義ごとに異なるオンラインツールを使用したため混乱した、対面講義と同一日になると通学や講義間の休憩で受講環境を調整することが大変であった、などの意見がありました。学生からのこのような意見をもとに、来年度以降の講義に対応できるよう現在検討を進めております。

また、今年度の入学生は学生生活を送る上で、困難が多かったようです。入学式やオリエンテーションなど様々な行事が中止となり、講義開始も延期が続いていました。学務係からのメールや大学のホームページから情報を入手するという状況だったそうです。そのため、同期の学生と顔を合わせることもなく不安なまま初回の講義を迎えようとしたところ、先輩方のサポートがありSNSでつながることができたそうです。このとき、先輩の優しさと千葉大ネットワークの凄さを感じたとのこと。秋になり、ようやく初めて何人かの同期の学生と会うことができたそうです。一つの空間で一緒に講義を受ける意義を再認識するとともに、日ごろの悩みなどちょっとした話からモチベーションアップにつなげるといった対面ならではの喜

びを感じたようです。

教員としては、学生のインターネット環境に合わせた準備が大変だったようです。オンデマンド型の講義では、学生の反応を確認することが難しく、繰り返し動画を視聴することが可能であるため、講義の録画に緊張感があつたとのことでした。また、当初はオンライン形式ではなくオンデマンド型のみであったため、動画のデータ容量を減らすための編集などに多くの時間を要したそうです。動画編集ツールを使いこなせるようになるまでが大変だったそうですが、動画を効果的に用いることでより学生を惹きつけ、講義に幅を持たせることができる可能性を感じたそうです。

また、オンラインでの実施が困難な学習内容においては、夏ごろから対面型の講義が再開されました。感染対策としてフェイスシールドなどを装着して講義を実施し、これまでとは異なる大変さがありました。さらに、講義や演習によって感染対策が異なることがないよう教員間で情報共有をする必要がありました。

臨床実習は、医療施設側の受け入れが困難な期間があつたため、ペーパーペイシエントを活用しました。しかし、実際に患者に関わることで得られる経験は代えがたいものがあるため、実習が再開できた時の喜びは言葉に表せないものがありました。また、感染者数変動の影響を受けて、実習受け入れ先の状況によっては急遽スケジュールが変わることもあり情報連絡が大変だった、とのことでした。

研究に関しては、臨床研究が実施できないことが大学院生に多大な影響を与えていました。特に、博士前期課程の2年生は4～5月に研究テーマの変更を余儀なくされ、アンケート調査やオンラインインタビューなど非対面を前提としたデータ収集方法へ再検討する必要がありました。新型コロナウイルスが蔓延する中で研究活動を進めることが非常に困難であったため、教員・大学院生ともに研究活動への影響を多大に受けた1年でした。

新型コロナウイルスの最中、怒涛の1年間でしたが、このような状況下だからこそ得られた気づきも多かったように思われます。大学では2021年度以降も新たな講義形態も含め、教育研究活動を継続していくために、講義内容の検討、学習環境の改善などを進めていきたいと考えています。このように社会情勢に対応した看護学部・看護学研究科の発展に努めていきたいと思っておりますので、同窓生の皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

登録データの更新・変更について

今年度より、登録データに変更がない方は返信不要になりました。登録データに変更がある方は、WEBページか個人票のどちらかで登録データの変更をお願いいたします。また、「近況報告」ご希望の方、総会について「非承諾」・ご意見のある方も、このどちらかより6月末日までにご登録をお願いいたします。

<WEBページによる登録データ変更、近況報告、総会へのご意見登録方法>

<https://ours1.net/chiba-univ.nursing/> にアクセスします。

右のQRコードからでもアクセス可能です。

ID: chiba-univ.nursing

パスワード: dosokai

「登録情報変更あり」をクリックして内容を入力し送信してください。ご自分のメールアドレスにも確認メールが届きます。近況報告や総会へのご意見は「登録情報変更なし」をクリックし、ご登録ください。



登録データ更新・変更
WEB ページ QR コード

<個人票による登録データ変更、近況報告、総会へのご意見登録方法>

変更・訂正事項記入欄に修正内容をご記入、または近況報告や総会へのご意見をご記入ください。同封の個人情報保護シールを上貼して、ご返送ください。

変更方法に関する注意点

☆勤務形態、設置主体、職種、職位はコード表から番号を選択してください。

☆現在学生の方は最終学歴の「学校名」の欄に学校名を記し、(在学中)とご記載ください。勤務を続けたまま学生をされている方(科目等履修も含む)は、勤務状況と学校名の両方のご記載をお願いいたします。

☆名簿に連絡先の掲載を希望しない場合は、該当する記載欄に(不掲載)とご記載ください。

個人票による登録データ変更および、近況報告、総会へのご意見の締め切り

2021年6月末日までをお願いいたします。

WEBページでは一年中、登録データの変更が可能です。

登録データに変更がありましたら、WEBページまたは個人票の返送により必ず変更してください。

登録データは、同窓会からのあらゆる連絡(たよりの発行、名簿の発送など)のために使用しております。また、卒業生・修了生の現在の活動状況を知る重要かつ唯一の資料となっておりますので、必ず登録データの変更をしてくださるようお願い申し上げます。

！名簿の情報流出にご注意ください！

同窓会では、皆さまから集めた個人情報は厳重に保管し、また名簿も信頼のおける業者に作成を依頼しており、こちらから個人情報が流出することは一切ありません。昨年度、名簿発行後に情報が流出したと考えられる事例が報告されております。皆さまのお手元にある名簿の管理については充分にご注意いただきますようお願いいたします。古くなった名簿を破棄する場合には裁断(シュレッダ)するなどしてデータが万が一にも流出しないよう管理の徹底をお願いいたします。また、登録データ変更用のWEBページは個人情報保護のため送信専用としておりますが、ID、パスワードは会員外の方と共有することのないよう、ご協力をお願いいたします。

令和3年度 大学院看護学研究 教員紹介

研究部門	講 座	教 授	准教授	講 師	助教・助手	技術 / 特任
先端実践看護学	高度実践看護学	<u>岡田 忍</u> <u>中村 伸枝</u> <u>眞嶋 朋子</u> <u>増島麻里子</u> <u>酒井 郁子</u>	<u>佐藤 奈保</u>	<u>小川 俊子</u>	<u>仲井 あや</u> <u>中水流 彩</u> <u>楠 潤子</u> <u>佐野 元洋</u> <u>佐伯 昌俊</u>	(技術専門職員) <u>西尾 淳子</u> (特任研究員) <u>國武由香里</u> (特任専門職員) <u>佐藤 睦</u>
	高齢社会実践看護学	<u>正木 治恵</u>	<u>石橋みゆき</u> <u>黒田久美子</u>		<u>佐々木ちひろ</u>	(特任准教授) <u>大原 裕子</u> (特任助教) <u>山崎由利亜</u>
生活創成看護学	健康増進看護学	<u>小宮山政敏</u> <u>森 恵美</u> <u>北池 正</u> <u>池崎 澄江</u>	<u>田中 裕二</u> <u>前原 邦江</u>		<u>雨宮 歩</u> <u>木村佳代子</u> <u>遠山 房絵</u>	(特任准教授) <u>岩田 裕子</u>
	地域創成看護学	<u>田上美千佳</u> <u>宮崎美砂子</u> <u>石丸 美奈</u> <u>諏訪さゆり</u>		<u>野崎 章子</u> <u>岩瀬 靖子</u> <u>今村恵美子</u>	<u>鈴木 美央</u> <u>鈴木 悟子</u> <u>坂井 文乃</u> <u>湯本 晶代</u>	
文化創成看護学	文化看護学	<u>山本 利江</u>	<u>斉藤しのぶ</u>		<u>飛世真理子</u> <u>宇田川友佳</u>	
	専門職育成学	<u>中山登志子</u>	<u>井出 成美</u>		(助手) <u>植田満美子</u> <u>カスノフ ダビッド</u>	(技術補佐員) <u>田代 実香</u>
	看護政策・管理学	<u>和住 淑子</u> <u>野地 有子</u> <u>手島 恵</u>	<u>錢 淑君</u> <u>杉田由加里</u>	<u>高木 夏恵</u> <u>飯野 理恵</u>		(特任教授) <u>藤田比左子</u> (特任研究員) <u>炭谷 大輔</u> (技術補佐員) <u>米田 礼</u>
附属専門職連携教育研究センター			(<u>井出 成美</u>)	(特任講師) <u>臼井いづみ</u> (特任講師) <u>孫 佳茹</u>	■ <u>馬場由美子</u>	

* 下線…正会員 ■特命助手 ()の名前…兼任者